



さいと

# 市議会だより

第110号

令和4年11月1日発行



寸断された道路



ハウス被害



土砂崩れ

## 9月18日から19日にかけて襲来した台風14号の被害状況



電柱の倒壊



漂着物



冠水した農地



冠水した道路



災害ごみ仮置場



ボランティア活動

(写真:被災後、議員が各地を回り確認した被害状況)

議会は1. 災害ごみ対策、2. 停電対応、3. 東米良の孤立解消、4. 商工業者復旧支援等の要望を市に申し入れました。

### ●9月定例会の概要●

令和4年第5回定例会は9月1日に招集。市長提出議案37件、報告案件4件について審議を行いました。当初、会期は9月30日までの30日間としておりましたが、台風14号の襲来により本市は甚大な被害を受けたことから、職員が災害復旧対応に集中できるよう、会期を21日までに短縮し、令和3年度決算関係議案14件については継続審査としました。採決の結果、市長提出議案23件はいずれも原案可決(うち1件は承認、1件は適任)としました。

被害状況 (R4.10.12時点)

避難者数 423世帯 911名

床上浸水 68棟

床下浸水 121棟

市道・林道・都市公園被害 約5億1,800万円

農業関係被害 約7億4,600万円

商工業関係被害 約8,000万円

### 主な掲載内容

- ◎一般質問・・・P2~6
- ◎議案審議結果・・・P6~7
- ◎委員会審査概要・・・P8
- ◎委員会活動等・・・P9~10
- ◎議会Q & A・・・P10

西都市議会  
ホームページ

ホームページ  
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ

ダウンロードは  
はこちらから↓



さいと市議会だよりを  
アプリで配信中!

ヤングケアラー支援、市営住宅のあり方について他

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



**問①** 小中学校でのヤングケアラーの早期発見、実態把握について。

**答** 各小中学校には、ヤングケアラー専用相談窓口設置されておらず個別教育相談、月一回程度の学校生活アンケート調査実施である。現段階では教育相談等を通してのヤングケアラーに関する相談の報告はない。

**問②** スクールソーシャルワーカー配置はされているのか。

**答** 県から派遣のスクールソーシャルワーカーを一名配置、学校と連携して家庭支援を行っている。

**問③** 小中学校にヤングケアラー専用窓口はあるのか。

**答** ヤングケアラー専用相談窓口設置はない。福祉事務所等の連携を密に「教育相談」による実態把握や「スクールソーシャルワーカー」の配置で対応する。

**問④** 市営住宅のあり方について伺う。

**イ** 単身の高齢者らが保証人を確保できず、住まいのセーフティーネット、安全網の最後のとりでと言われ

ながら、保証人確保が大きな壁となっている。規定を保証人廃止する自治体が相次いでいるが、本市での検討はされているのか。

**答** 検討した結果、保証人廃止した場合、家賃債務保証業者による機関を活用すると入居者の金銭負担増加するので、保証人規定存続する。

**ロ** 空き室の有効活用について。

**答** 国土交通省住宅局通知「公営住宅の地域対応活用」により、移住・定住に係る目的外使用を実施している。

**問⑤** 庁舎内の男子トイレにサンタリーボックスは設置に対しての認識と設置予定はあるのか。

**答** 高齢男性、前立腺がん、膀胱がんの男性が増え、全国でも設置が必要と認識している。多目的トイレに設置しているが、前庁舎の時に、私物ごみ投棄が多く発生したため、現時点では、多目的トイレのみの設置としている。

**問⑥** 市内小中学校、県立学校での生理用品の配布、設置状況について。

**答** 小学生は高学年児童の女子一人1、2パック、中学校は全女子生徒一人2パックを配布、トイレにも設置済みである。

医療センター財政、ボランティアガイド、自転車交通について

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



**問①** 医療センターの令和元年度と令和3年度の医療収入を伺う。

**答** 元年度は13億2479万円、3年度は8億718万円である。

**問②** 同年の当期純利益を伺う。

**答** 元年度は7914万円、3年度はマイナス9456万円である。

**問③** キャッシュフローの元年度、3年度の期末残高を伺う。

**答** 元年度は3億4908万円、3年度は6413万円である。

**問④** 2億8495万円の減少だが、この期末残高は適正か伺う。

**答** 適正かどうか一概には言えないが、このままの状況が続くと資金繰りが困難になる可能性もある。

**問⑤** このままの医療体制ではセンター経営は好転しない。病院財政がひっ迫していると、住民の悲願である新病院建設も難しいと考える。私は財政的にも好変化をもたらし、住民の願いである二次救急を基本的に置いた病院の在り方を望むが、市長の考えを伺う。

**答** 新病院の建設費や経営維持等を考慮すると、経営安定が必須条件である。その為には脳神経外科等常勤医師の早期確保、地域に不足する二次救急医療の提供が重要である。このことは経営安定とともに市民の命を守ることに繋がると考える。新病院については課題抽出、情報収集に努めている。

**問⑥** ボランティアガイド育成の観点での養成講座について伺う。

**答** 現在終了しているが、関係者と協議の上、再開したいと考える。

**問⑦** 妻高生ガイドの考えを伺う。

**答** しっかりしたルール作りが必要で、学校側と協議していきたい。

**問⑧** 観光協会を観光地である西都原に移転する考えはないか伺う。

**答** 利便性が向上するとは思いますが、これまでの経緯や課題を精査しつつ、慎重に協議していきたい。

**問⑨** 中学再編後を見越した、自転車通学路について伺う。

**答** 通学手段に関する調査を実施したいと考える。遠方からの自転車通学も予想される、通学路以外の道路利用も考えられるので安全面に関する調査を行いたい。

**問⑩** 観光客、通学等の安全の為に自転車通行レーン整備を伺う。

**答** 未整備が多い現状だが、調査内容を共有し、整備を促進したい。

学力向上と都於郡社会教育施設について

令和の会 黒木 吉彦



動画はこちらから↓



問① 本年度の全国学力・学習状況調査における本市の結果がどうであったか、またその結果をどう受け止めたか何うとともに、本市の学力向上に向けた取組について教育長に伺いたい。

答 本市の状況は、小中学校ともに全国平均と、若干の差はあるが、数年前の状況と比べると大幅に改善が図られている。なお小中学校ともに、全ての教科で県平均並み又はそれ以上の結果であり、県内においては、上位層に位置する好成绩であった。これは、市内各小中学校の校長はじめ教職員の努力に加え、学年末に行う「学びの確認」、宮崎国際大学や妻高校との連携、講師を招いての「教職員の資質向上研修」などの取組の成果であり、児童生徒の学力は確実に向上していると考えている。

問② 全国学力・学習状況調査から見えてきた課題について伺いたい。

人口減少抑制の対策として、子育て支援や教育環境の充実を

葵の会 森 祐子



動画はこちらから↓



問① 人口減少問題に焦点をあて策定された「第2期さいと未来創生総合戦略」の進捗を伺う。また、出産・子育ての施策について伺う。

答 雇用の創出や移住定住・関係人口の創出は一定の成果が出ている。出産・子育てに関して、今後力を入れて取り組むべき課題と認識している。

問② 目標達成に抜本的戦略も必要と考えるが今後の対策を伺う。

答 子育て環境の充実、教育環境の充実を更に進める、保育料の助成についても今後検討していかねばならないと考えている。

問③ 文部科学省が開発と展開を進める、「オンライン学習システムメクビット」の導入状況、活用事例を伺う。

答 市内の全小中学校に導入した。単元の終わりや、年度末の「学びの確認」にて活用している。

問④ 無償で使えるメリット、さらに全国の他自治体とも「共通理解」が図れ、教育格差を埋めることにもつ

ながると思うが、今後の活用について伺う。

答 正答率や達成度が分かり、児童生徒が主体的に取り組むようになった。印刷や採点の手間が省け、教員の業務効率も上がった。重要な手段の一つとして拡充を行う。

問⑤ 本市で学力向上に向けた特徴的な取り組みはあるのか伺う。

答 中学2、3年生への英検の助成、宮崎国際大学や妻高校と連携した「英検対策講座」の実施。受講者の合格率は高い。

問⑥ 教育分野の充実が市の活性化や定住人口増加につながると考える。全国には教育環境の整備として特徴的な取り組みをし一定の成果を上げていく自治体が複数ある。市長の見解を伺う。

答 「教育や子育て支援策の充実」の必要性を認識した。先進事例について情報収集に努めていく。

問⑦ 人口減少抑制に特効薬はないが、当面する課題に予算を充てるとともに、将来を見据えた投資について新たな施策の積極的な取り組みをお願いしたい。

答 子育て世代の対策や教育の充実について、事業効果を検証しながら、投資すべきところは積極的に取り組んでいきたい。

選挙公約・議会制民主主義・医療センター運営について

新風創生会 中武 邦美



動画はこちらから↓



表制)が憲法で定められているのか伺いたい。

自治体運営の基本的な方針を決定していく中で、議会はその執行を監視し、住民を代表する首長と議会が、対等な関係の中で地方自治の発展に資することと理解している。

医療センターでは、新型コロナウイルス感染症患者の受入れについて、濱砂理事長を先頭に、医師、看護師、職員の方が昼夜を問わず、一丸となつて懸命に対応されておられるが、このような状況を踏まえても、濱砂理事長の解任を強行される考えに変わりはないのか伺いたい。

理事長解任の撤回は考えていない。

医療センターは、毎日たくさんの方が受診されている。濱砂理事長を解任することを市民の皆さまが望まれていると思われるのか伺いたい。

新型コロナウイルスへの対応には感謝している。しかし脳疾患の医療提供が行われておらず、脳疾患等の二次救急医療は住民の多くの皆さまが望んでおり、市として当然の医療施策であり、御理解をいただきたい。

選挙公約で「私が当選すれば、濱砂亮一先生は、必ず帰ってきます」と市民に訴えられた。もうすぐ市長就任2年になるが、復帰はいつになるのか伺う。

復帰については高い可能性を感じているが明確な時期は答えられない。

市長に就任されて今日まで濱砂亮一先生と話をされた事があるか伺いたい。

私が直接お話しした事はない。

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



台風・豪雨災害から市民の命・財産を守ることにについて

防災対策の現状と対策は。

平時時に防災対策等の推進を図り、災害発生時に迅速に対応し、住民の安心・安全を確保する災害等対応事業及び緊急時の情報伝達手段の確保や防災行政無線の適正な維持運用などに取り組んでいる。

一ツ瀬ダム・立花ダムの事前放流・流域住民への通報体制及び協定の運用は。

県や九電との間で「事前放流に関する協定」が締結されている。事前放流は予測降雨量が協定で定められた各ダムの基準降雨量に達する最大3日前から実施が可能とされている。放流開始時にはダム管理者から地域住民への放流警報の措置が行われる。

医療センターについて

選挙公約である脳神経外科医の濱砂亮一先生の復帰の見通しは。

明確な時期は答えできない。新病院建設は市民の悲願でもあり市長の公約でもある。任期中の建設工への見通しは。

台風・豪雨対策、医療センター、物価高騰対策について

設着工への見通しは。

任期中の建設工は現実的ではないと考えている。

物価高騰に対する具体的支援対策は。

国の地方創生臨時交付金を活用した事業者支援や消費喚起にかかる各種施策に取り組んできた。商業者については、中小企業融資制度等に市独自の利子補給制度を創設した。農林業者については、施設園芸等燃油価格高騰対策への生産者積立金に対する補助事業の創設、省エネ設備導入に対する緊急支援省力化支援を行っている。

新型コロナウイルスワクチン接種の現状と課題は。

本市のワクチン接種率は県平均であるが20代から40代の3回目の接種率は県平均を下回っており接種率の向上が課題である。

安倍元首相の国葬に反対し、市民に弔意の表明は求めないことについて見解は。

国からの通知が来なければ、弔意を求めるとはしない。

(旧)統一教会の関連団体が共催した「ピースロード2022 in 宮崎」で挨拶した理由は。

今後は関連団体とは一切関与しないよう十分留意したい。

行財政の健全な運営と農林業振興対策について

新風創生会 米良 弥



動画はこちらから↓



**問①** 市民本位の行政サービスの提供について伺う。

**イ** 事務処理の効率化、省力化の具体的な取り組み状況は。

**答** 毎年事務事業の評価を行い、見直し・廃止などの判定を行っている。また、外部委託や電算化による事務の効率化、市民サービス向上のため500種類(約70%)の押印廃止などに取り組んでいる。

**ロ** 新庁舎の窓口サービスのワンフロア化の成果と出生や死亡手続きのワンストップ化は。

**答** ワンフロア化は市民アンケートでも高い評価を得ている。ワンストップ化については取り組んでいない。

**ハ** 市民からの意見や質問等の庁内での情報共有化と市民サービスへの活用状況は。

**答** 情報共有の基準はないが必要と判断した情報は課内及び他課との共有を図るよう指導しているが、さらに徹底して行く。

**問②** 本市の議員選出監査委員は、西

公共施設の再利用、利活用方法、今後の計画について

新風創生会 村上 修乗



動画はこちらから↓



**問①** 市内にて、閉鎖していく公共施設が徐々に増えている現状である。西都市の目指すまちづくりの基本理念「抜群に住みやすいまち・西都」を指すためには欠かせない大きな課題点と感ずる。今年3月に閉校になった都於郡小学校山田分校跡地の今後の再利用、利活用の計画を伺いたい。

**答** 山田分校については、現在、利活用に向けた調査検討を行っているが、有効な利活用方法の決定には至っていない。準備が整い次第、地域住民の意見も伺いながら、西都市公有財産利活用検討委員会において検討し、決定していく考えである。

**問②** 閉園になった各保育所跡地の今後の再利用、利活用を伺いたい。

**答** 旧山田保育所跡地については今春、ある法人から施設の譲渡等の相談が所管課の福祉事務所にあったので旧杉安保育所と同様に建物は無償譲渡、土地は有償譲渡とし、公募選定

により売買契約を締結する方針について西都市公有財産利活用検討委員会と協議したところ特に異論はなかった。そのため今後は地元区長、公民館長等への説明会の開催や不動産鑑定評価を行い、売却に向けて進めていきたいと考えている。また旧上三財保育所跡地については、本市としての利活用計画が現在特にないので今まで通り福祉事務所で適切に管理していく。

**問③** 本市として今後、様々な環境下に置かれている公共施設をどの様に再利用、利活用していくための対策を計画しているのか伺いたい。

**答** 今後の計画としては、施設の老朽化や財源不足、住民ニーズの変化等の課題や今後の施設の改修や更新にかかる費用の試算等を踏まえ施設全般については長寿命化と管理の効率化を図り、建物系施設については新規整備を最小限に抑制すると共に施設の複合化や利用されていない施設の用途変更、取り壊し等により総量を縮減し将来の更新費用を削減していくこととしている。

「市政運営の基本方針・展望と各施策への取り組み」について

結の会 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



**問①** 災害における、福祉避難所「総合福祉センター」を一般避難所へ指定できないか伺いたい。

**答** 高台にあり風呂やトイレに調理室等の設備が充実している。今後、社会福祉協議会と協議し、災害の状況に応じ臨機応変に対応する。

**問②** 農業に深刻な被害をもたらす野性鳥獣の対策として捕獲した物を地域資源（ジビエ）として有効活用する考えはないか伺う。

**答** 処理加工施設の建設等、将来性が見込めればジビエの活用範囲を拡げる。

**問③** 西都市に唯一存在する妻高校が創立100周年を迎えるが、これを機にさらなる活性化のひとつとして、姉妹都市である長崎県西海市の大崎高校野球部を招き交流試合を企画してはどうか伺う。

**答** 実施には、高野連の規定・両校の日程調整や合意など高いハードルがあるが、このような企画を契機に様々な分野で両市の高校生間の交流が促進

され、活性化が図られる等の期待は大きい。

**問④** 昨年度、小中学校の通学路合同点検であがってきた対応件数と改善具合について伺う。

**答** 危険箇所は31件の改善要望があげられた。改善済みは15件であり、他は整備中・本年度施工予定。

**問⑤** 本市における周産期と小児医療（夜間対応含む）の現状について伺う。

**答** 周産期医療の提供は行われていない。小児医療は2医療機関が提供している。なお、小児夜間診療は、県病院内の夜間急病センターに対応をいただいており、宮崎市と協定を締結し経費の一部を負担している。

**問⑥** 令和3年度西都児湯医療センターの貸借対照表の内、利益剰余金1億227万8686円とあるが、その内「次期繰越利益剰余金」の金額について伺う。

**答** 次期繰越利益剰余金は、771万3322円である。

**問⑦** 市政の健全性を図る将来負担率。今後10年程度を見越した場合、どう予測されているか伺う。

**答** 今後、病院建設等の大型ハード事業が控えており、これからも将来に不安を残さない慎重な財政運営に努めていく。

■第5回定例会（9月1日～21日）で審議された議案の概要と結果

市長提出議案37件、報告案件4件について審議を行いました。当初、会期は9月30日までの30日間としておりましたが、本市は台風14号で甚大な被害を受けたことから、職員が災害復旧対応に集中できるよう、会期を21日までに短縮し、令和3年度決算関係14件については継続審査としました。採決の結果、市長提出議案23件はいずれも原案可決（うち1件は承認、1件は適任）としました。

※令和3年度決算関係議案14件については議決後に掲載します。

条例関係

番号	議案名・概要	審議結果	
第63号	西都市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について (職員の育児休業制度の改正に伴い、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	全会一致
第64号	西都市企業立地促進条例の一部改正について (関係法令の廃止及び改正等に伴い、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	全会一致
第65号	西都西地区運動場の設置及び管理に関する条例の一部改正について (冷暖房機の整備に伴い、当該機の使用料等について所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	全会一致
第66号	西都市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について (中学校再編に伴い、所要の整備を行おうとするもの)	原案可決	全会一致

予算関係

番号	議案名・概要	審議結果	
第67号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第6号)について (商工費にキャッシュレス決済ポイント還元事業委託料7,500万円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第68号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第7号)について (総務費、衛生費など、総額13億6,654万5千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第69号	令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第2号)について (基金積立金など、総額7,730万5千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	賛成多数
第70号	令和4年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第1号)について (住宅費など、総額203万9千円を減額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第71号	令和4年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第1号)について (基金積立金など、総額1億7,101万1千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	賛成多数
第72号	令和4年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正(第1号)について (障害認定審査会費など、総額35万9千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第73号	令和4年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第1号)について (後期高齢者医療広域連合納付金など、総額1,777万円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第74号	令和4年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算補正(第1号)について (諸支出金など、総額2万3千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第75号	令和4年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)について (諸支出金など、総額3万4千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第76号	令和4年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)について (繰出金など、総額40万2千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第77号	令和4年度西都市水道事業会計予算補正(第1号)について (総係費など、総額161万9千円を減額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第78号	令和4年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第1号)について (配水設備工事費など、総額269万6千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第79号	令和4年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第1号)について (総係費など、総額1,005万円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第80号	令和4年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第1号)について (総係費から17万3千円を減額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致
第97号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第8号)について (台風14号による災害対応のため、衛生費、農林水産業費、教育費に総額7,125万2千円を増額補正しようとするもの)	原案可決	全会一致

その他

番号	議案名・概要	審議結果	
第61号	専決処分の承認を求めることについて (地方独立行政法人西都児湯医療センター第3期中期計画を地方独立行政法人法第26条第1項の規定により認可することについて、議会の議決を必要としたが、特に緊急を要し、これを専決処分したので、議会の承認を得ようとするもの)	承認	賛成多数
第62号	人権擁護委員候補者の推薦について 田村 洋子 氏 (新任)	適任	全会一致
第81号	市道路線の廃止について (新庁舎外構整備に伴い、市道路線を廃止しようとするもの)	原案可決	全会一致
第82号	市道路線の認定について (新庁舎外構整備による市道起点の変更に伴い、新起点から終点までを市道路線に認定しようとするもの)	原案可決	全会一致



賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名 (左から議席番号順)													審議結果		
		太田寛文	森祐子	吉岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上司	井上久昭		狩野保夫	岩切一夫
第61号	専決処分の承認を求めることについて		○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
第69号	令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第71号	令和4年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長のため表決に参加しない  
○：賛成 ●：反対

総務委員会審査概要

定例会において総務委員会に付託されました議案5件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

採決結果

議案第63号 西都市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について  
議案第67号 令和4年度西都市一般会計予算補正(第6号)について  
議案第68号 令和4年度西都市一般会計予算補正(第7号)について

議案第75号 令和4年度西都市児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)について  
議案第76号 令和4年度西都市児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)について

すべての議案について、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生委員会審査概要

定例会において文教厚生委員会に付託されました議案9件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

採決結果

議案第61号、69号、71号  
反対討論がなされ採決の結果、賛成多数をもって原案可決

議案第66号  
賛成討論がなされ採決の結果、全会一致をもって原案可決

その他の議案については全会一致で原案可決

審査の過程で出た主な意見

医療センターでは、患者サービスの向上における職員の接遇向上が高いことや新型コロナウイルスに関して、陽性者の受け入れなど公的医療機関としての役割、また災害発生時や他の緊急時における診療施設機能の維持など、地域災害拠点病院としての役割などの体制整備について尽力いただいていることは大変ありがたいことである。これからは第3期中期計画に沿った、特に住民が望んでいる医療サービスの「緊急性の高い脳疾患や地域に不足している内科疾患における二次救急医療の提供」や「初期救急医療体制の維持及び充実」、「地域医療連携の充実」の遅れを早期改善に向けて、計画に沿った努力をお願いしたい。

産業建設委員会審査概要

定例会において産業建設委員会に付託されました議案10件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

採決結果

全て全会一致で原案可決

審査の過程で出た主な意見

農林水産業費に学校給食に提供する牛肉代が計上されている。『新型コロナウイルス感染症の影響で出荷量・売上げの減少や価格の下落等を受けた和牛肉について、県の補助金を活用し地産地消及び応援消費を促す観点から、学校給食への無償提供を実施する』と説明を受けたが、子ども達の給食に和牛肉が提供されることは中々ない機会であることと、宮崎県や西都市で生産されている和牛は、全国トップクラスの品質である事を知る良い機会だと捉える。西都市内の子ども達に給食を通して、それらの事を伝えていただくよう要望する。



## 台風後の議会の対応

今期定例会は当初、9月1日から30日までの30日間の会期で審議が行われる予定でした。しかしながら、18日、19日に襲来した台風14号により、西都市は甚大な被害を受けました。21日の本会議前に行われた議会運営委員会において「今回の台風14号により、本市は甚大な被害を受け、市民は災害復旧作業に追われ、日常生活に大きな支障を来している状況である。また市当局も災害復旧対応に尽力しており、さらなる災害復旧対応、迅速な対応が求められる。この状況下の中で、本一丸となって職員が災害復旧対応に集中できるように会期末を9月21日までの21日間とする」旨の決定が行われ、本会議において全会一致で了承されました。

災害直後の21日に追加提案された市長提出議案第97号 令和4年一般会計予算補正(第8号)は台風14号による災害対応のための予算であり、浸水被害家屋等書毒業務委託料や災害廃棄物処理業務委託料などが計上されており、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 国道219号整備促進

(産業建設委員会)

産業建設委員会では、西都市、西米良村、湯前町(熊本県)で構成する三市町村議会国道整備促進合同協議会の活動として、8月17日、18日に宮崎・熊本両県要望、8月29日、30日に九州地方整備局、国土交通省へ要望活動を行いました。

要望内容…  
一般国道219号の早期整備促進  
道路整備促進のための予算確保

国道219号は熊本市から宮崎市に至る沿線14市町村の生活を支える重要な路線ですが、西都市、西米良村区間においては未整備箇所が未だ多く残されています。これからも早期整備に向けた要望活動を展開し、住民の声を国や県に届けてまいります。



知事要望

国土交通省道路局長要望

## 新田原基地諸問題対策

(新田原基地対策調査特別委員会)

新田原基地対策調査特別委員会では8月に九州防衛局へ要望に伺いました。基地の隣接する本市において騒音は大変深刻かつ、住宅防音工事助成区域の指定についても十分な対策がとられていない状況です。さらに今般、最新鋭ステルス戦闘機F-35Bの新田原基地配備計画が示されました。基地問題に関わる情報について迅速かつ丁寧な情報提供を行うこと、そして地域住民の安心安全を中心としたさらなる補償と基地周辺対策事業を講じられることを、切に要望してまいりました。国防や防災の観点から、基地の重要性に理解を示すとともに、安定的かつ円滑な運用に向けて、引き続き取り組んでまいります。

最後に、台風14号のボランティアに多くの自衛隊隊員が参加してくださいました。この場をお借りし、心より感謝申し上げます。



九州防衛局長要望

## 小林市議会デジタル化視察

(議会運営委員会)

10月4日、小林市議会へデジタル化議員研修に伺いました。今まで議会運営委員会(議運)では行政調査、研修等はあまりやっていたりなかったのですが、議会のかなめである議運をよりブラッシュアップするためには、先進地視察や研修をやるという事で実現しました。テーマは議会のデジタル化です。各議員タブレットを使用し、紙の資料削減や議案資料等がタブレットに収まり、より議員活動がより良くなることと、市民への説明も具体的になりやすいなどの利点を感じました。費用対効果も良いものであったし、議会としては設備要望していきたいと思っています。受け入れていただいた小林市議会の皆さんには感謝申し上げます。



研修風景

日向市議会議会だより作成視察  
(議会報編集委員会)

8月4日、日向市議会へ議会だより作成の研修に行きました。その目的は今まで以上に市民に読んでもらい、議会活動への理解を得る議会だよりへと改善することです。いろいろと学びを得ることができました。特に行政や議会的な専門用語より、市民が理解しやすい優しい用語(日向では小学5年生が読めるような文章という表現)で編集することの大切さを学びました。「人の振り見て我が振り直せ」という言葉があります。これからも先進事例を学びよりよい議会だよりにしていきたいと考えております。日向市議会の皆さんには準備、研修等感謝申し上げます。



研修風景

議会Q & A

Q. 議員の任期はいつまでですか?また、選挙権・被選挙権とは何ですか?

A. 西都市議会には、現在15人の議員(定数15人)がいます。

議員は4年に一度、市民によって選挙で選ばれ、現在の議員の任期は「令和4年4月27日から令和8年4月26日まで」です。議員に立候補できるのは、満25歳以上の市民で、立候補できる権利のことを「被選挙権(ひせんきょけん)」といいます。また、選挙で投票することができるのは、満18歳以上の市民で、投票できる権利のことを「選挙権(せんきょけん)」といいます。

Q. 議会はいつ行われるのですか?

A. 議会はいつでも開催されているわけではありません。定期または臨時に一定の期間だけ開催されます。定期的に行われる会議を定例会、必要に応じて開催される会議を臨時会といいます。

西都市議会の定例会は条例・規則で年4回(通常3月、6月、9月、12月)と決められています。

なお、本会議間は、委員会活動として調査、研究、国や県への要望など議会の本分に沿った活動を行う期間です。

Q. 議長・副議長はどうやって選ばれますか?またどういった仕事をしますか?

A. 議長・副議長は、議員の中から選挙で選ばれます。

議長は市議会を代表し、議会の秩序を保ち、議事の整理をし、議会の事務を処理します。また、市議会を代表し、いろいろな会議や催しに出席したり、他の機関と協議をします。

副議長は、議長に事故があるときや欠けたときに、議長に代わって職務を行います。

編集後記

台風14号にて被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く平穏が戻ることをお祈りするとともに、引き続き復旧支援の充実に向けて一丸となって取り組んでまいります。

8月に議会報編集委員会で日向市議会へ視察に伺いました。市議会だよりをひとりでも多くの方に手に取っていただき、中身に目を通していただくには、その工夫と取り組みについて、お話を伺ってきました。

今回の視察で学んできた内容をもとに、今後少しずつ紙面が変化していく予定です。市民の皆さまに親しみやすい、分かりやすい、そして興味深い紙面づくりを目指していきます。

議会報編集委員会

- 委員長 橋口登志郎
- 副委員長 村上修乗
- 委員 森祐子
- 委員 壱岐秀光
- 委員 浦田明子
- 委員 荒川敏満
- 委員 黒木吉彦
- 委員 狩野保夫